

2022 年度 自己点検・評価報告書

2022 年度 動物実験に関する自己点検・評価報告書

名古屋学芸大学

2023 年 6 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 □ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・名古屋学芸大学動物実験規程（2021.4.1 施行）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」で求められる内容を網羅した機関内規程が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 □ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・名古屋学芸大学動物実験規程 ・名古屋学芸大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 飼育保管基準及び基本指針に適合した動物実験委員会が設置され、適正に運営されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・名古屋学芸大学動物実験規程 ・各種様式（動物実験計画書、動物実験結果報告書、動物実験計画（変更・追加）承認申請書、飼育保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書、施設等（飼育保管施設・動物実験室）廃止届、実験動物搬入申込書）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験の実施に必要な動物実験規程及び各種様式が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☒ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 該当しない。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 該当しない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・名古屋学芸大学動物実験規程 ・各種様式（飼育保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書、施設等（飼育保管施設・動物実験室）廃止届）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼育保管施設等の設置と廃止に関する要件が動物実験規程に定められており、必要な各種様式等も適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当しない。

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・名古屋学芸大学動物実験委員会議事録 ・動物実験計画書・委員意見書、動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 名古屋学芸大学動物実験規程に基づき適正な委員会活動をしている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験計画書、委員意見書、動物実験結果報告書 ・動物実験の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☒ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 該当しない。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当しない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・飼養保管マニュアル ・動物飼養保管記録 ・動物室温度・湿度記録簿 ・緊急時連絡表 ・実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物は適正に飼養保管されている。 また、昨年度改善を要求した内容である生活環境の保全に関する内容が、飼育保管マニュアルに記載され、適正に運営されている。実験動物飼育保管状況の自己点検票の自己点検実施日についても修正している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。								
2) 自己点検の対象とした資料 <table border="0"> <tr> <td>・名古屋学芸大学動物実験規程</td> <td>・飼養保管施設設置承認申請書</td> </tr> <tr> <td>・実験動物飼養保管状況の自己点検票</td> <td>・実験室設置承認申請書</td> </tr> <tr> <td>・飼養保管施設定期視察報告書</td> <td>・災害対策マニュアル</td> </tr> <tr> <td>・動物実験委員会議事録</td> <td>・飼育室入退室管理表</td> </tr> </table>	・名古屋学芸大学動物実験規程	・飼養保管施設設置承認申請書	・実験動物飼養保管状況の自己点検票	・実験室設置承認申請書	・飼養保管施設定期視察報告書	・災害対策マニュアル	・動物実験委員会議事録	・飼育室入退室管理表
・名古屋学芸大学動物実験規程	・飼養保管施設設置承認申請書							
・実験動物飼養保管状況の自己点検票	・実験室設置承認申請書							
・飼養保管施設定期視察報告書	・災害対策マニュアル							
・動物実験委員会議事録	・飼育室入退室管理表							
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 年に2回定期視察が実施され、3月には空調設備を改修し、適切に維持管理されてる。2022年4月より飼育室・解剖室の入退室管理方法がノートから身分証によるシステム管理に変更され、より厳格な入退者管理が行われている。								
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。								

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験教育訓練報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験を行う学生に対しては、適正に教育訓練が実施されている。しかし、実験動物管理者および動物実験委員の教育訓練については、外部の研修会受講が望ましいが実施されていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 ここ3年間は、コロナ禍で受講が制限されていた可能性もあるが、今後は実験動物管理者並びに動物実験委員の役割に応じた教育訓練を受けて頂きたい。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・名古屋学芸大学動物実験自己点検・評価報告書 ・本学ホームページ
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 2021 年 3 月 4 日付「2020 年度検証結果報告書（名古屋学芸大学）」、本学自己点検・評価報告書、 本学動物実験関連規程及び動物実験の実施状況を本学ホームページに公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

該当しない。
